

川西町東沢活性化センター

施設概要

事業主体：山形県

施設名称：川西町東沢活性化センター

所在地：東置賜郡川西町大字大舟 910

用途：コミュニティーセンター



《外観写真》

●施設の特徴、内容

川西町東沢地区の交流拠点施設として、平成 21 年度に建てられた施設。「都市と農村間の交流」「地域間の交流」「地域内の世代間交流」展開する拠点施設として計画された。多目的ホールや会議室、調理実習室、情報発信コーナーなどを設け、都市住民や消費者との交流をベースとした東沢産農産物の販路拡大施設として建てられた。

●設計における工夫点

情報展示コーナーのベンチや内装の腰壁などに木材を多く使用することで、置賜産の木材に温もりのなかで安らぎを感じながら交流活動がおこなえる施設になるよう設計した。

南立面図

東立面図



■建物情報

階数：地上 1 階

構造：木造

小屋組方式：集成材接合金物工法

敷地面積：2,946.22 m²

延床面積：495.7 m²

最高軒高：5.7 m

最高高さ：8.42m

耐火・準耐火：その他

■主要仕上

外部仕上

(屋根)：長尺カラー鉄板 t0.35 mm横葺

(外壁)：スチールサイディング t15 mm縦張り

下部 杉羽目板張り t15 mm横張り防腐着色塗り

内部仕上

(床)：天然木複合フローリング t15 mm

(壁)：クロス張り

(腰壁)：杉板 t9 mm羽目板張り

(天井)：化粧有孔石膏ボード t9.5 mm



《多目的ホール》

《使用木材》



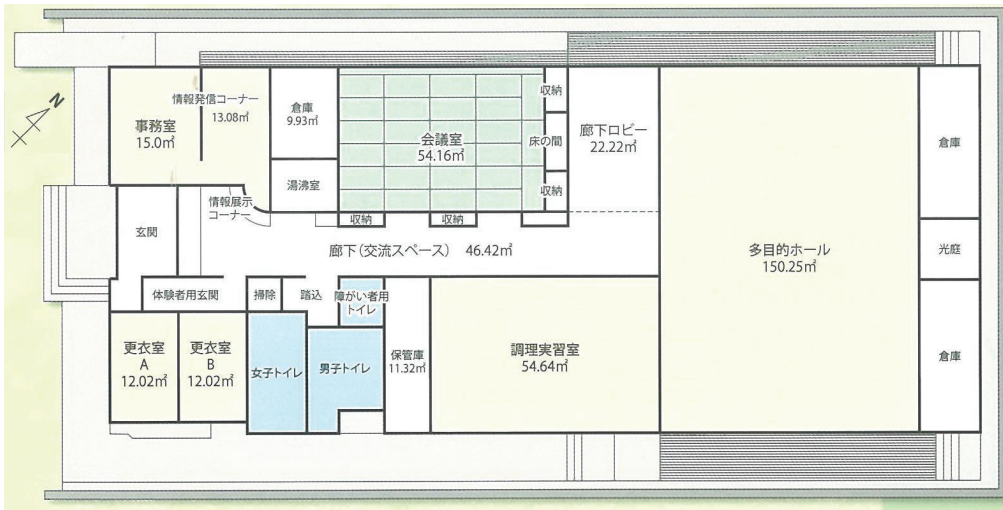
杉 164.9㎡
【県産木材 164.9㎡】

●大空間に対する工夫点

木造の建物内でゆとりある大空間を確保するために多目的ホールは木質大断面構造とした。多目的ホール内に3方向からの自然光を取り入れる為に、ステージのうしろに光庭を設け昼間は外の光だけでも十分な明るさが得られるように工夫した。

●配置計画について

周囲の景観との関係では、東西に回廊を設け東沢地区の里山に広がる、四季折々の美しい景観を眺めることができるように配置した。平面計画では、「都市と農村間の交流」では研修施設としての利用、「地域間の交流」では郷土料理教室、「世代間の交流」では食農教育など多様な利用形態に活用される施設として、情報交換や交流を促すためのスペースを配置した。



平面図

●木造を採用した理由

地域の材料で建てた建物に住まう意味の「地材地住」を基本として、人と環境にやさしい置賜産の県産木材を利用することで、温もりと安らぎを感じる木造施設にした。



《廊下（交流スペース）》



《情報展示コーナー》



《調理実習室》



《会議室》

■事業概要

設計者： 有限会社 二宮設計事務所
 施工者： (建築) 株式会社 殖産工務所
 (電気) 東北電化工業 株式会社
 (機械) 株式会社 藤倉設備
 工期：平成 21 年 9 月～平成 22 年 3 月

設計費： 3,915 千円
 建設費：(合計) 105,341 千円 (外構を除く)
 1㎡あたりの建設費： 213 千円